

地域福祉と包括的支援体制

専門教育科目 / 4 単位 / T 授業

担当教員 川崎 順子

■使用テキスト

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集）
「最新・社会福祉士養成講座第 6 巻 地域福祉と包括的支援体制」中央法規出版

◆参考テキスト 資料等

- ・日本地域福祉学会(編)「新版 地域福祉事典」中央法規 2006
- ・地域における住民主体の課題解決力強化・相談支援体制の在り方に関する検討会（地域力強化検討会）地域力強化検討会最終とりまとめ～地域共生社会の実現に向けた新しいステージへ～
- ・「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会（地域共生社会推進検討会）「最終とりまとめ」
- ・「社会福祉六法」中央法規
- ・社会福祉の動向編集委員会「社会福祉の動向 2024」中央法規出版
- ・財務省ホームページ「日本の財政関係資料」
- ・「月刊福祉」全国社会福祉協議会 毎月発行

講義概要・一般目標

地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援を実施し、地域住民等が主体的に地域課題を解決していくよう支援できるソーシャルワーカーを養成することが求められている。そこで、本科目では地域福祉の考え方や包括的支援体制について、その理論、方法を体系的に理解するとともに、それらを推進するうえで欠かせない福祉行財政と福祉計画について学ぶ。また、地域福祉と包括的支援体制を推進していくための地域を基盤としたソーシャルワークの展開について理解を深め、具体的な展開方法について修得する。（DP1・DP4）

なお、本科目に関するテキストをはじめ、参考テキスト・資料等により、基本的知識や地域福祉の動向を修得する。（DP5）

到達目標

- 1) 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題について説明できる。
- 2) 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制について説明できる。
- 3) 地域福祉ガバナンスと多機関協働について説明できる。
- 4) 地域福祉の基本的な考え方について説明できる。
- 5) 地域を基盤としたソーシャルワークの展開について説明できる。
- 6) 災害時における総合的かつ包括的な支援体制について説明できる。
- 7) 福祉計画の意義と種類、策定と運用について説明できる。
- 8) 国・都道府県・市町村の役割、祉行政の組織及び専門職の役割について説明できる。
- 9) 福祉における財源について説明できる。

実務経験のある教員による教育

科目担当者（川崎）は、地域福祉の実践現場（社会福祉協議会）での 5 年以上の実務経験に基づき、実践的な視点から「地域福祉と包括的支援体制」の習得を目的とした添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題

この章のポイント

地域社会の概念とコミュニティに関する理論を概観し、我が国のコミュニティ政策の展開について理解するとともに、地域社会の変化によって発生する地域生活課題と対応策について学ぶ。

第2章 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制

この章のポイント

地域共生社会の考え方を学習し、包括的支援体制及び2020（令和2）年の社会福・祉法改正で新たに位置づけられた重層的支援体制の具体的な展開方法について学び、実現に向けてのソーシャルワーカーの役割を理解する。

第3章 地域福祉ガバナンスと多機関協働

この章のポイント

地域福祉ガバナンスの概念を理解するとともに、地域福祉ガバナンスを進めるための協議の場の必要性および社会福祉士・精神保健福祉士など専門職の役割や果たすべき機能をについて学ぶ。

第4章 地域福祉の基本的な考え方

この章のポイント

地域福祉の基本的な考え方である「地域福祉の概念と理論」及び「地域福祉の歴史」を一体的に理解するとともに、近年の「地域福祉の動向」における地域福祉の課題と解決を担う「地域福祉の主な推進主体」について学ぶ。また、「地域住民の主体」形成のための方法として「福祉教育」の重要性について理解する。

第5章 地域を基盤としたソーシャルワークの展開

この章のポイント

地域共生社会の実現に向け重要な役割を持つ、地域を基盤としたソーシャルワークであるコミュニティソーシャルワークの考え方やそれが必要となった背景を理解する。また、住民の主体形成を支援するソーシャルワークの視点や方法、コミュニティソーシャルワークの具体的な展開過程について学ぶ。

第6章 災害時における総合的かつ包括的な支援体制

この章のポイント

災害多発時代ともいわれる近年の状況を踏まえ、災害時における法制度について理解するとともに、災害によって生じる課題に対し、どのような地域福祉や包括的支援を行うかについて学ぶ。

第7章 福祉計画の意義と種類、策定と運用

この章のポイント

福祉計画の基本的視点や福祉計画が果たす機能を戦後の福祉計画の歴史を踏まえて理解するとともに、地域福祉（支援）計画の内容について学ぶ。また、福祉計画の策定過程と方法・技術、ニーズ把握と評価の方法・技術について、ソーシャルワークの視点に基づいて学ぶ。

第8章 福祉行財政システム

この章のポイント

国や都道府県、市町村の役割について理解するとともに、地方の分権化の状況と国と地方の関係について学ぶ。また、社会福祉の実施体制と専門職の配置、国家予算及び地方予算における福祉の財源構成について学ぶ。